

平成 23 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録

日時：平成 23 年 4 月 8 日（金） 17:30～20:35

場所：社会基盤工学専攻大会議室

出席者：竹内会長，水野(1 期)，寺本(2 期，会計監事)，南川(3 期)，大澤(4 期)，遠山(5 期)，横田(6 期)，浜嶋(8 期・関西支部)，伊藤(11 期)，水野(12 期)，田中(13 期)，磯部(14 期)，向井(15 期)，大東(16 期)，若林(17 期・東京支部)，織田(17 期)，宮崎(18 期，21 期代理)，水谷(19 期)，伊東(20 期)，加藤(22 期)，中村(23 期)，中野(24 期)，野田(25 期・幹事長)，鈴木(26 期)，石川(27 期)，加藤(28 期・副幹事長)，水野(32 期)，三輪(34 期・会計)，田代(35 期・名簿)，中井(36 期・会計)，判治(37 期・しゃち)，田賀(38 期)，上田(39 期・名簿)，中村(42 期)，赤根(43 期)，酒井(44 期・しゃち)，三室(45 期)，後藤(46 期・学生会)，青山(47 期)，唐津(47 期)，戸田(現教・しゃち)，舘石(現教・教員幹事)

合計 40 名

■役員会に先立ち，会長挨拶および幹事自己紹介があった。

報 告

1. 平成 22 年度分会計報告および平成 20～22 年度会計決算報告 (三輪)
 - ・平成 22 年度分(2011.4.1 締)の会計について，会費納入・しゃち広告の収入状況ならびに，名簿・しゃち印刷代，支部・学生会・女子の会・留学生への補助／支援および事務員雇用費などの支出状況の説明がされた。
 - ・現事務員が本年 4 月から 2 年目の勤務になることに伴い，時給を上げることが承認された。
 - ・平成 20～22 年度会計決算について，3 年前(前会計年度)決算時と比較して，繰越金が 300 万円増加(収入約 230 万円増，支出約 70 万円減)。会費納入率の改善や各種経費削減が学生支援などの充実を上回った形。ただし，23 年度からは単年度会計・会計徴収方法が変わるため，推移を継続的に注視する必要がある。
2. 会費納入状況について (田代)
 - ・4 月 1 日現在の各期納入状況一覧が示され，説明がされた。
 - ・納入率の若干の改善が見られ，同期会開催期の幹事による呼びかけが奏功していると考えられる。
 - ・各期幹事は引き続き同期会員に会費納入をお願いしてください。
3. 後援基金報告 (中村)
 - ・22 年度下半期の支出状況が報告された。詳細は，特別講演謝礼 3 件，博士論文印刷補助 0 件，終身会員資格権利授与 0 件，留学生歓迎会補助 1 件。
 - ・後援基金使用ルールの改善案が審議され，了承された。具体的な変更点は次の 2 点。(1) 英文ニュースレターを年に一度作成(A4 で 4～5 枚)し，全留学生 OB に配布する。このとき，

終身会員になることをニュースレターに記載する。終身会員にのみ、名簿としゃちを郵送する。紙面構成は鏡ヶ池会留学生担当および教室と検討する。印刷作成費は後援基金から支出。

(2) 博士論文の内容は、しゃちに全留学生が投稿することを義務付ける。

4. 教室近況報告 (館石)
 - ・ 前回役員会からの教室人員配置の変更等として、水谷法美教授の工学研究科副研究科長の就任 (4/1 付)、伊藤義人教授の名古屋大学連合 2 群議長・教育研究評議会評議員の就任 (4/1 付)、永石雅史教授の着任 (10/1 付)、中井健太郎准教授の昇任 (4/1 付)、廣畑幹人助教の着任 (2/1 付)、韓驥助教の着任 (11/1 付) ならびに崔誠珉助教、黒崎ひろみ助教、古藪真紀子助教の着任 (4/1 付) の着任が報告された。
5. 支部活動報告
 - 1) 東京支部 (若林)
 - ・ 今年度予定の支部役員会 (5 月)、幹事会 (7 月)、支部総会 (11 月 11 日) 開催などの説明があった。
 - 2) 関西支部 (浜嶋)
 - ・ 昨年 11 月の支部大会、今年度の第一回幹事会の報告とともに、今年度予定の支部大会 (11 月 18 日) および関西支部会則を制定したことなどの説明があった。なお、富山に転勤された山岸氏 (14 期) が鏡ヶ池会北陸支部設立に向けて検討を開始したことが報告された。
6. 学生会活動報告 (後藤)
 - ・ 会計、土木系講座懇親会、研究室対抗ソフトボール大会、就職試験対策ゼミの開催などの 22 年度の活動報告とともに、復活した卒業アルバム紹介があった。
7. 女子の会活動報告 (田代(む)代理：野田)
 - ・ 22 年度活動報告として、新メンバーを含めた交流会が報告された。22 年度の本部からの補助は 6,261 円。
8. 留学生支援に関する会計報告 (李代理：野田)
 - ・ 土木系教室内での留学生間の親睦と同窓会への帰属意識を高めるための懇親会は、23 年度も開催予定。鏡ヶ池会が 5 万円を補助することを了承した。(10 月の留学生歓迎会に関する後援基金からの補助は 23 年度不要の予定。昨年度の繰越で対応できる予定。)
9. 土木事業談話会・マナー講座報告 (野田)
 - ・ 平成 22 年 12 月 5 日 (土) に土木事業に関する談話会を行い、52 名の学生が参加したこと、懇親会費用・講師交通費 120,000 円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。
 - ・ 平成 23 年 1 月 13 日 (木) にマナー講座を行い、33 名の学生が参加したこと、講師派遣費用 67,260 円を鏡ヶ池会が補助したことが報告された。

10. 名古屋大学土木系教室 50 周年記念式典 (中村)
- ・記念式典, 記念シンポジウムおよび記念祝賀会の開催について, 予定日時 (10 月 1 日), 場所 (豊田講堂) ならびに, プログラム案が紹介され, 鏡ヶ池会とも連携を図って検討して行くことが述べられた. 鏡ヶ池会 (同窓会) 側としても準備委員会 (5 月予定) を立ち上げ, 企画・連携の仕方などを検討してゆく. メンバーは 5 期毎に 1 名の幹事を指名で, 人選は会長・幹事長に一任いただくことを了承した.

議 事

1. 次期会長候補について (野田)
- 会長推薦案作成委員会の選考経緯が報告された. 次期会長推薦順位案として, 第 1 候補: 宮池克人氏 (5 期, 中部電力代表取締役副社長執行役員), 第 2 候補: 伊藤義人氏 (11 期, 名古屋大学教授) を承認した.
2. 幹事・役員の変更・追加 (野田)
- ・現時点での役員・幹事の変更・追加が承認された.
 - ・前回役員会名簿からの変更は以下の通り.
教員幹事: 中村英樹→館石和雄, 44 期: 上山博満→三室碧人, 4 年幹事: 鶴田義隆・藤田桃子 (以上, 敬称略).
3. 平成 22 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録 (案) (野田)
- 議事録案が了承された.
4. 会費システム移行について (中井)
- 会費徴収制度の変更 (総会承認予定) に伴う確認事項 (学生会費の廃止・会費の単年度化と一律化・コンビニ決済の導入・プレミアム会員制度の導入・終身会員の一律化) の確認とともに, 若い期の未納額への対応 (移行措置) 案が示され了承した.
5. 「会員名簿 No.47」編集方針 (上田)
- ・No.46 の編集・発送の総括, No.47 の編集方針と今後のスケジュールが説明され了承された.
 - ・No.46 の総括では, 名簿編纂支援・自動化した作成システムの改良による効率化が図られたことが報告されるとともに, 「会員名簿の索引に記載されているページ番号と実際のページの不一致」に対してあらためてお詫びがあった.
 - ・平成 21 年度の返送状況をもとに 93 名の住所不明者への名簿発送を中止したことなどが報告された.
 - ・22 年度は 15 年度以降使用してきたクロネコメール便から郵便サービスを利用した結果, 郵送費を前年度比で約 26 万円削減できたことが報告された.
 - ・No.47 の編集方針と今後のスケジュールについては, 卒業生のデータベース化をより効率よく行うために, 名簿に「指導教員」や「所属研究室」等の情報を追加してゆくことが説明された.

6. 「しゃち No.52」編集方針 (戸田)
- ・編集方針が説明され、了承された。
 - ・特集は「名大土木教室 50 周年記念事業報告」および「東日本大震災」の二本立てとする。
 - ・しゃちのバックナンバーの電子化の進捗について、一部を除いて PDF 化作業が終了している。今後はパスワードを会員に通知して、鏡ヶ池会 HP から閲覧できるように公開してゆく。なお、これを鏡ヶ池会の 50 周年記念事業の一つとして位置づける。
7. ウェブサーバの現況およびドメイン管理費 (葛西代理：野田)
- ・サーバの現況ならびにドメイン管理費の契約期限について報告された。
 - ・メールサーバの SSL 化、ドメイン管理費の 3 年間の更新、新年度体制において「サーバ管理」部門と「しゃち」部門を新たに広報担当とすること、ならびに鏡ヶ池会 HP サーバの新規購入を了承した。なお、SSL 化については、事務局側の数名が対象。
8. 会則の改正について (野田)
- ・改正案が示され、了承した。
 - ・主な改正点は次の (1) ～ (3) の 3 点。(1) 第 11 条の 2 として「会長は、必要に応じて、役員会の承認を受けて、副会長をおくことができる。副会長は、会長に事故あるときはその業務を代行する。」を追加。(2) 第 5 章の総会の単年度化に伴う点の変更。(3) 「空間コース」を「空間環境学コース」と正式名称に変更。
9. 第 21 回総会について (野田)
- 5 月 27 日に行う総会の説明が行われた。各期幹事には参加者を増やすよう各期に呼びかけていただきたい。総会議案については、会則の改正案、新役員 (案)、後援基金運営委員 (案) など、本役員会の決定事項を踏まえて修正することとした。
10. 平成 20～22 年度活動総括 (野田)
- 平成 20～22 年度の活動総括と積み残した検討事項が説明された。
今後の検討事項は以下の通りである。
- ・ 50・60 代 OB による教室との共催行事を行う (H19 年度第 1 回役員会)
 - ・ 土木教室創立 50 周年事業への対応
 - ・ 留学生 OB へのニュースレターの作成と配布 (H23 年度第 1 回役員会)

以上